

令和6年度 第2回さいたま市青少年宇宙科学館運営委員会次第

日時：令和7年3月12日(水) 15時00分

会場：青少年宇宙科学館 団体抛室

1 開 会

2 議 事

(1) 令和6年度 事業報告について

(2) 令和7年度 事業計画について

(3) その他

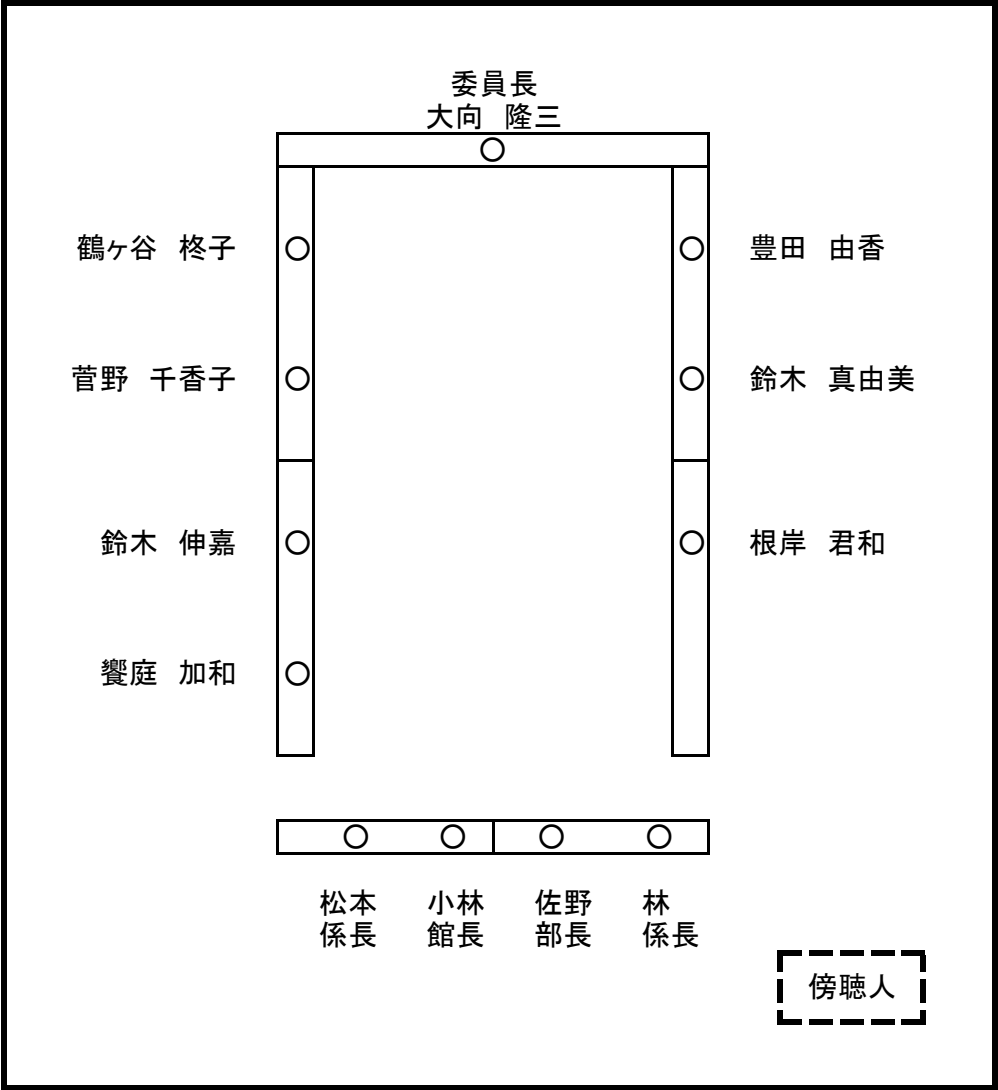
3 閉 会

令和6年度　さいたま市青少年宇宙科学館運営委員会　委員名簿

		氏名	職名・所属団体等
委員長		オオムカイ リウゾウ 大向 隆三	埼玉大学教授
委 員	1	ツルガヤ トウコ 鶴ヶ谷 柊子	浦和大学専任講師
	2	スガノ チカコ 菅野 千香子	さいたま市P T A協議会
	3	サクマ ユキ 佐久間 由記	青少年育成さいたま市民会議
	4	スズキ ノオシ 鈴木 伸嘉	公募委員
	5	キムラ リョウジ 木村 良治	公募委員
	6	アエバ マスヲ 饗庭 加和	さいたま市私立幼稚園協会
	7	トヨダ ユカ 豊田 由香	さいたま市立小学校校長会 (さいたま市立西原小学校長)
	8	スズキ マユミ 鈴木 真由美	さいたま市立中学校長会 (さいたま市立美園南中学校長)
	9	ネギシ キミカズ 根岸 君和	さいたま市立高等学校長会 (さいたま市立大宮北高等学校長)

さいたま市青少年宇宙科学館運営委員会 座席表

日時:令和7年3月12日(水)
15時00分～
会場:団体抛室



令和6年度 さいたま市青少年宇宙科学館 第2回 運営委員会



◆◆◆ 次 第 ◆◆◆

- 1 開会
- 2 議事
 - (1)令和6年度事業報告について
 - (2)令和7年度事業計画について
 - (3)その他
- 4 閉会

令和7年3月12日(水) 15時00分開会

目次

1	令和6年度の主な取組等	3
2	第1回運営委員会を受けて検討した内容等	5
3	令和6年度事業内容	
	(1)「宇宙のまち さいたま」教育プロジェクトの推進	7
	(2)「宇宙のまち さいたま」事業	9
	(3)展示事業	12
	(4)プラネタリウム投影事業	19
	(5)教室事業	23
	(6)学校等支援事業	25
4	統計	29
5	広報関係概要	32
6	令和6年度 成果と課題	34
7	令和7年度 主な事業計画	36

1 令和6年度の主な取組等

(1)「宇宙のまち さいたま」教育プロジェクトの推進

◆「宇宙のまち さいたま」フォーラムの開催

JAXA職員でSLIMの開発者である秋月氏の講演会、スペースコース修了生の発表やワークショップを開催し、専門家・大学・企業等で構成される「宇宙のまち さいたま」サポーター等の協力も得て、市民が「宇宙のまち さいたま」に関心をもつとともに、宇宙や科学の面白さや不思議さに触れ、宇宙や科学へのあこがれや大きな志をはぐくむ場となった。

◆「宇宙のまち さいたま」各種事業の充実

若田宇宙飛行士アカデミー事業「スペースコース」・「ロボットコース」をはじめ、若田名誉館長杯ローバーロボット大会2024、中高生等によるサイエンスフェスティバルなど、運営方法を工夫して実施し、参加者満足度は高い水準を維持している。

1 令和6年度の主な取組等

(2)館主催および連携事業

◆体験・参加型に特化した企画展運営

◆「市民の日」無料投影・ワークショップの開催

- ・令和6年5月1日 プラネタリウム無料投影・ワークショップを開催。
- ・プラネタリウム895人・ワークショップ122人が参加した。

◆学校連携の充実

- ・全ての市立小学校4年生、中学校・中等教育学校3年生、特別支援学校を対象とした「プラネタリウムを活用した学習利用」の実施。
- ・スクール・サポート・サイエンス事業の実施。

◆他課との連携

- ・漫画会館の「宇宙兄弟展」とフォーラムのコラボレーション。
- ・さいたま市から「体験の風を起こそう」運動に参加。

2 第1回運営委員会を受けて検討した内容等

1 展示更新について

- ・インタラクティブコンテンツを宇宙ひろばに設置。
- ・季節やサイエンスショー・プラネタリウムの内容によって、標本や生体展示を更新。

2 夏休みの自由研究について

- ・夏休み子ども科学館まつりで実施しているワークショップやサイエンスショーの中で、自由研究のヒントを提示したり、展示コーナーに掲示したりする取り組みを検討。

3 令和6年度事業内容

(1)「宇宙のまち さいたま」教育プロジェクトの推進

「宇宙のまち さいたま」フォーラム

講演会 青少年ホール
令和6年11月16日(土) 参加者:206人



●感想

○参加したのは初めてでしたが、SLIMのお話をたくさんうかがえて大変面白かったです。実際にJAXAの職員の方から直接何う苦労話や感動などは子どもたちにとってもかなり刺激になったと思いました。

○前向きな大人や仲間との出逢いは人生の宝だと思います。子ども達が未来へのモチベーションを高めるきっかけとなる活動をして下さり感謝致します。

令和6年11月1日(金)～30日(土) 参加者:11,588人

ワークショップ 令和6年11月17日(日) 参加者:903人



宇宙少年団さいたま支部
水ロケット体験



「宇宙のまち さいたま」
サポーターによる
ワークショップ



SORA-Q体験会

「宇宙のまち さいたま」教育プロジェクトの紹介動画

プラネタリウム特別投影「宇宙兄弟舞台巡り」

令和6年11月23日(土・祝) 2回投影 158人

「宇宙のまち さいたま」5周年記念ビンゴ 参加者:350人

インタラクティブコンテンツの設置

他課との連携

(2)「宇宙のまち さいたま」事業

若田宇宙飛行士アカデミー スペースコース



●応募者 **24人**（応募42人）

- ・全8回のリニューアル ・JAXA筑波宇宙センターへ見学
- ・元JAXA職員による講義・実験やハイブリッドロケットの発射実験など
- ・宇宙開発分野で躍進する企業による講義
- ・ディスカッションを通して考えを深め合う
- ・「宇宙のまち さいたま」フォーラムでのプレゼンテーション

成果 受講者アンケート結果より、肯定的な回答が**95%**を上回った。
感想 将来のことを色々と考えるきっかけになった。宇宙飛行士や宇宙関連の仕事につきたい。最年長としてリーダーシップを発揮できた。

9

若田宇宙飛行士アカデミー ロボットコース

★発達段階に応じたロボット教室

ロボット・プログラミング入門(小1～小3)向け:ディスカバリーコース

ロボット・プログラミング応用(小4～中3)向け:チャレンジコース

ロボットコースディスカバリー	実施日	参加人数
ロボットミッション1・2・3	R6.9.21	34人
プログラミングロボットで遊ぼう	R6.10.6	19人
かべつたいロボットを作ろう	R7.1.13	38人

ロボットコースチャレンジ	実施日	参加人数
スカベンジャーロボットを作ろう	R6.8.24	19人
プチロボを作ろう	R6.9.15	16人
宇宙エレベーターロボットを作ろう	R6.7.14 R6.12.8	34人



10

若田名誉館長杯ローバーロボット大会2024

令和6年8月18日(日)

小学生の部



中学生の部



	対象	参加チーム数・人数
小学生の部	小学4～6年生	7チーム 14人
中学生の部	中学生	19チーム 38人

コズミックカレッジ

キッズコース 令和6年 9月16日(日)宇宙劇場会場

ジュニアコース 令和7年 3月 2日(日)科学館会場

コース	対象	内容	参加人数
キッズコース	小1・2年生とその保護者	星砂を探そう・かさ袋ロケットを飛ばそう	17組34人
ジュニアコース	小3～中学生	簡易真空実験・空力翼艇	17人

14

(3)展示事業

令和6年度企画展一覧

R7.2.28現在

	企画展名	期間	概要	期間中 来館者数
I	ワクワクランド 2024	R6.4.2～ R6.5.6	パズルやロボットなどで遊びながら科学にふれる展示。	11,343人
II	大迫力のティラノ サウルス・ワールド 2024	R6.5.18～ R6.7.7	恐竜の化石や生体復元、全身骨格の展示。	24,117人
III	夏休みこども科学 館まつり(忍者展 含む)	R6.7.20～ R6.9.29	ワークショップやサイエンスショー、忍者の修行体験やデジタル忍者ゲームなど体験展示。	45,769人
IV	ダンボール宇宙 遊園地	R6.10.12～ R7.1.5	リサイクル率95%以上のダンボールを使った体験展示。	26,407人
V	星景写真展	R7.2.8～ R7.3.9	美しい星景写真や映像、撮影風景の展示。	6,888人

12

企画展Ⅰ『ワクワクランド2024』

令和6年4月2日(火)～令和6年5月6日(月・休)



13

企画展Ⅱ 『大迫力のティラノサウルス・ワールド2024』

令和6年5月18日(土)～令和6年7月7日(日)



展示物



展示物解説ツアー



恐竜ペーパークラフト



恐竜講演会

14

企画展Ⅲ『夏休みこども科学館まつり』

令和6年7月24日(水)～令和6年8月12日(月・祝)

ワクワクワークショップ



【製作物】
・オイルモーション
・蛍光スライム
・偏光キーホルダー

ワクワクサイエンスショー 夏休み自由研究スペシャル



博物館実習生による
サイエンスショー

15

企画展Ⅲ『夏休みこども科学館まつり』

令和6年7月20日(土)～令和6年9月29日(日)

忍者のわんぱく修行展



修行体験



展示物



デジタル忍者ゲーム

16

企画展Ⅳ「ダンボール宇宙遊園地」

令和6年10月12日(土)～令和7年1月5日(日)

展示



ダンボールクラフトワークショップ



17

企画展Ⅴ

「星景写真展～美しい星空を求めて～」

令和7年2月8日(土)～令和7年3月9日(日)



18

(4) プラネタリウム投影事業

一般投影

R7.2.28現在

番組名	投影期間	投影回数	総入場者数(人)
ちびまる子ちゃん	R6.4.2～R7.3.30	141	6,538人
ダイナソー・サバイバル	R6.4.2～R7.1.26	131	8,225人
MMX 火星衛星探査計画	R6.4.2～R7.3.30	94	2,920人
すみっコぐらし	R6.7.20～R7.3.30	160	15,731人
ノンタン	R6.10.5～R7.3.30	81	2,449人
星宙散歩	R6.4.13～R7.3.22	35	897人

特別投影

R7.2.28現在

番組名	実施日	投影回数	総入場者数(人)
宇宙兄弟舞台巡りプラネタリウム	R6.11.23	2	158人
プラネタリウム de 読み聞かせ	R7.1.26	1	93人
はじめてのプラネタリウム	毎月1回	11	1,374人
熟睡プラ寝たリウム in さいたま	R6.11.23	1	59人

19

学習投影（プラネタリウム学習利用）

小学4年生(科学館会場)

中学3年生(科学館会場)



	実施期間	学校数	参加人数(人)
小学校第4学年	R6.5.8～R6.12.6	104校	11,702人
中学・中等教育学校 第3学年	R6.9.3～R6.11.29	59校	10,425人
さくら草特別支援学校	R6.11.13 R6.12.4	1校	11人
ひまわり特別支援学校	R6.9.19	1校	9人

※その他 ルーテル学院小学部、埼玉大学附属小も実施

20

学習投影評価（小学校）

学習効果に対する評価（108校）

※さくら草特別支援学校は、小学校、中学校両方に計上

	そう思う(A)	どちらかという そう思う(B)	どちらかという そう思わない(C)	そう思わない(D)
興味・関心	98.1%	1.9%	0%	0%
理解	94.4%	5.6%	0%	0%
説明	98.1%	1.9%	0%	0%

- 設問
- 興味・関心…児童の興味・関心を高めることができた。
 - 理解…月や星の動きと時間の経過についての理解を深めることができた。
 - 説明…科学館職員の説明はわかりやすかった。

学校からの実施報告書より

- ・映像とともに、丁寧な解説があり、とても分かりやすかった。街灯が消えた星空の素晴らしさに驚き、星や空への興味が高まったようであった。
- ・星座早見盤の使い方が分からない児童に職員の方が教えてくださりありがたかったです。星座早見盤の使い方を知ることができ、子ども達の星への興味・関心が高まりました。
- ・サイエンスショー「空気のふしぎ実験」は、児童が興味・関心を高められるような内容でした。身近な材料を使っていただいたので、やってみたいと思う児童がたくさんいました。実験もどれも成功して児童もとても喜んでいました。

21

学習投影評価（中学校・中等教育学校）

学習効果に対する評価（60校）

※さくら草特別支援学校は、小学校、中学校両方に計上

	そう思う(A)	どちらかという そう思う(B)	どちらかという そう思わない(C)	そう思わない(D)
興味・関心	96.7%	3.3%	0%	0%
理解	91.7%	8.3%	0%	0%
説明	100%	0%	0%	0%

- 設問
- 興味・関心…生徒の興味・関心を高めることができた。
 - 理解…天体についての理解を深めることができた。
 - 説明…科学館職員の説明はわかりやすかった。

学校からの実施報告書より

- ・授業で天球上に星を映し動かすことが大変難しいので、プラネタリウムによってイメージや知識で覚えていたことの理解を深めることができた。
- ・天体の動き方を方位や目盛りを使って説明してくれたり、授業ではあまり扱わない星座にまつわる神話を話してくれたりしたので分かりやすかった。
- ・スケールが大きくて想像しにくいものを、身近なものに置き換える説明が生徒に好評だった。
- ・学校では扱えないような教材を使って説明していて、視覚的に体感しやすく分かりやすかった。

22

(5) 教室事業

R7.2.28現在



魅力ある教室事業



定例ワークショップ



館内イベント
(特別サイエンスショー)

事業名	実施回数	参加人数(人)
天体観望会	11回	904人
土曜ワークショップ	49回	3,872人
特別サイエンスショー	3回	1,230人

23

令和6年度教室事業一覧

R7.2.28現在

事業名	実施回数(回)	参加人数(人)
科学実験教室	4回	72人
科学工作教室	6回	80人
昆虫博士教室	6回	554人
自然観察教室	2回(1回中止)	39人
顕微鏡教室	4回	54人
天文宇宙教室	3回	16人
STEM教室	3回	34人
切り絵教室	2回	128人
ボランティア実験教室(ディレクトフォース)	2回	27人
ボランティア実験教室(くらりか)	4回	64人
合計		1,068人

24

(6)学校等支援事業

スクール・サポート・サイエンス事業



出前授業
(対象:小学3年・小学6年)



出前天体観望会
(対象:小・中・中等教育・特別支援学校)

令和6年度実績

出前授業 応募校数:31校 実施校:19校(3学年:13校 6学年:6校)

【参加人数:1,050人】

出前天体観望会 応募校数:9校 実施校:7校 曇天により2校中止

【参加人数:764人】

※参加人数は実施届が提出されている学校のみ

スクール・サポート・サイエンス事業（評価）

アンケート実施(19校)

	そう思う(A)	どちらかという そう思う(B)	どちらかという そう思わない(C)	そう思わない(D)
興味・関心	100%	0%	0%	0%
運営・内容	89.5%	10.5%	0%	0%
説明	94.7%	5.3%	0%	0%

設問

- 興味・関心…職員は児童生徒の興味・関心を高めることができた。
- 運営・内容…実施計画に従い、適切に携わった。
今後の指導の参考となる内容だった。
- 説明…科学館職員の説明は効果的であった。

学校からの実施報告書より

- ・教科書に載っている教具だけではなく自作で作った教材を活用して実演することは、児童の興味・関心を引くことに繋がると感じました。
- ・学校ではなかなか実施できないダイナミックな演示実験は、学習の深まりに効果絶大であった。
- ・子どもも大人も感動の歓声をあげていた。図鑑等で観るのとは違い、立体的に観ることができたので大満足の時間になった。

中高生等科学館ボランティア



ワークショップ運営

参加校数・人数

中学校: **23校60人** 中等教育学校: **1人** 高等学校: **8校13人**

感想

- ・一緒に何かを作ったりして、お客さんを笑顔にできたときの達成感を感じられたのがよかった。
- ・科学館の職員や博物館実習生の様子を見て、イベントを運営していくことの大変さを知った。準備はとても大変だが、やりがいもあって楽しかった。
- ・1日目にはできなかったことが3日目には自分で「こっちで一緒にやってみよう」と声をかけることができ、自分の成長を感じた。

27

中高生の
科学の祭典

サイエンスフェスティバル

ワークショップ

令和7年2月1日(土)2日(日)

2日間 3,171人

参加校数・生徒数

12校 計 136人



ワークショップ

サイエンスショー動画コンテスト

令和7年2月14日(金) 表彰式

参加校数・生徒数 7校10チーム 59人

最優秀賞 埼玉大学教育学部附属中学校

優秀賞 八王子中学校

優秀賞 田島中学校

アトラクション賞 東浦和中学校



サイエンスショー

感想

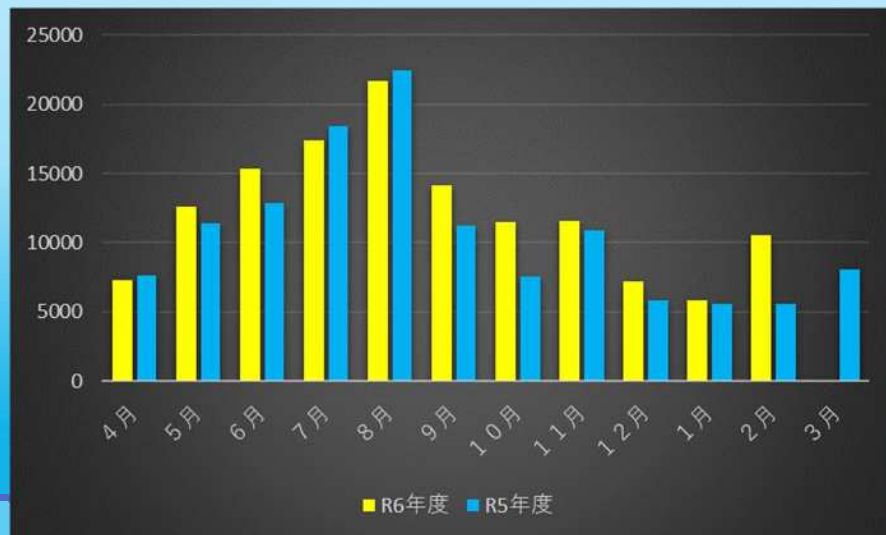
- ・とてもやりがいのある活動だった。準備も大変だったが、当日の活動はそれ以上に大変だった。説明や教えることの難しさを知ることができた。
- ・サイエンスショーの動画を作って、小学生に見てもらい、感想を聞くことができてよかった。

28

4 統計

①入館者数

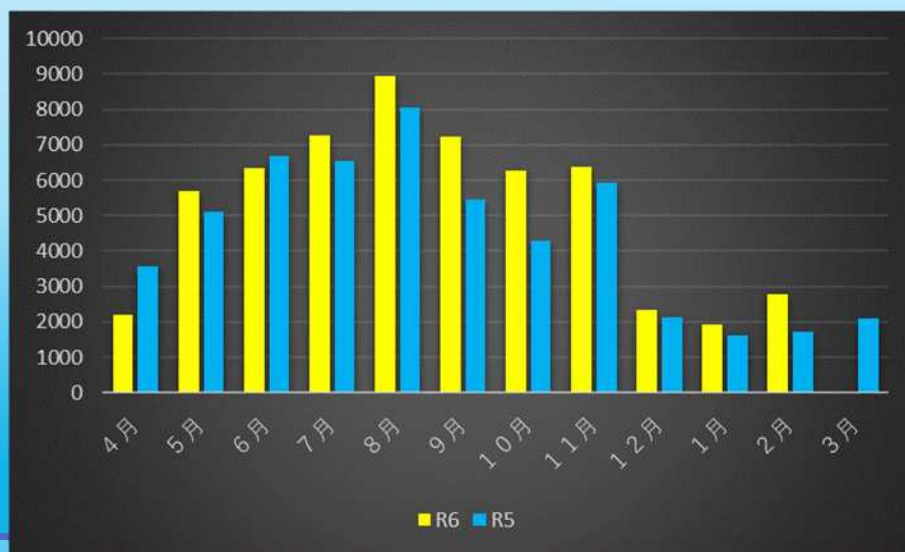
※R7.2.28現在



29

②プラネタリウム利用者数

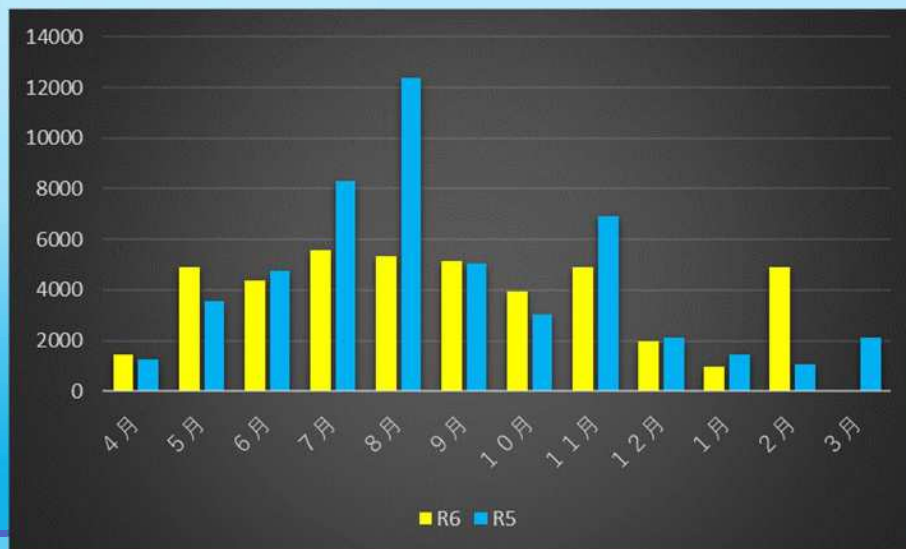
※R7.2.28現在



30

③施設利用者数

※R7.2.28現在



31

5 広報活動概要(報道発表含む)

※R7.2.28現在

(1)チラシ年8回

(2)ラジオ

・REDS WAVE「さいたまトピックス」で毎月2回科学館から電話出演(録音)

(3)雑誌・情報誌・Web

- ・市報さいたま
- ・埼玉県広報誌「彩の国だより」
- ・さいたま子育て情報局
- ・角川アスキー総合研究所 「マイホームLOVE Walker」
- ・リクルート 「SUUMO 新築マンション首都圏版」
- ・株式会社ナビタイムジャパン 「NAVITIME Travel」
- ・株式会社レッツエンジョイ東京 「関東 プラネタリウムデート10選」、施設紹介
- ・旺文社 「まっふるマガジン まっふる埼玉」
- ・びあ株式会社 「こどもとおでかけ365日 首都圏版2025-2026」
- ・JTBパブリッシング 「るるぶweb」
- ・株式会社PR TIMES 「STRAIGHT PRESS」星景写真展紹介

32

5 広報活動概要(報道発表含む)

※R7.2.28現在

(4)テレビ

- ・フジテレビ 4月30日 「めざましテレビ」(青少年宇宙科学館施設紹介)
- ・テレビ埼玉 6月 4日 企画展「大迫力のティラノサウルス・ワールド2024」
- ・テレビ埼玉 7月 7日 「のびのびシティさいたま市」(青少年宇宙科学館施設紹介)
- ・テレビ埼玉 11月16日 「ウィークエンドニュースサタデー」
(「『宇宙のまち さいたま』フォーラム」講演会)

(5)新聞(電子版含む)

- ・読売新聞 5月20日 企画展「大迫力のティラノサウルス・ワールド2024」
- ・埼玉新聞 5月29日 若田光一氏名誉館長継続
- ・埼玉新聞 6月18日 企画展「大迫力のティラノサウルス・ワールド2024」
- ・産経新聞 7月13日 青少年宇宙科学館施設紹介(埼玉『館』巡り)
- ・埼玉新聞 10月 3日 「宇宙のまち さいたま」教育プロジェクト(キッズ埼玉新聞)
- ・埼玉新聞 11月26日 「『宇宙のまち さいたま』フォーラム」講演会

33

6 令和6年度 成果と課題

成果

- ・「宇宙のまち さいたま」5周年 記念フォーラムの開催
JAXA職員による講演会、ワークショップ、漫画会館とのコラボ等
様々な取組により、「宇宙のまち さいたま」を広く周知できた。
- ・学習利用の円滑な実施
バス利用に不安があったが、各学校の実態と状況に合わせて実施した。
- ・来館者の増加につながる様々な取組
企画展 プラネタリウム番組・館内イベント・ターゲットを絞った広報
- ・子どもたちや参加者の意見を取り入れた事業の改善
中高生ボランティア、プラネタリウム学習利用

34

6 令和6年度 成果と課題

課題

- ・ボランティアの取組の見直し
- ・教室事業の内容と講師の引継ぎ
- ・プラネタリウム学習利用やスクール・サポート・サイエンス事業の内容のブラッシュアップ。
- ・社会的包摂の観点から障害のある方や外国の方も楽しんでいただける科学館を検討していく余地がある。
- ・広報活動の充実

35

7 令和7年度 主な事業計画

【「宇宙のまち さいたま」フォーラム】

講演会 JAXA職員または宇宙開発企業による講演会
発表 若田アカデミースペースコース受講生による発表
イベント 「宇宙のまち さいたま」サポーターによるワークショップ

【「宇宙のまち さいたま」事業の充実】

- ・若田宇宙飛行士アカデミー「スペースコース」全9回実施
- ・新たな教室事業の実施
電波工作教室 ハートキッズ教室
- ・中高生等によるさいたまSTEAMS教育 サイエンスフェスティバルの充実

【館内イベント】

企画展 甲虫展(カブトムシふれあい)、科学館まつり、電気展、錯視展 他
常設展示 若田宇宙飛行士体験ツアー・定例ワークショップ・サイエンスショー
・特別サイエンスショー(年4回)
プラネタリウム 通常番組投影・読み聞かせ・はじめてのプラネタリウム 等

36